

コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) について

コミュニティ・スクールとは、保護者の代表や地域住民の代表などで構成される「学校運営協議会」を設置している学校を指します。

輝く子供たちの未来の創造に向けて、学校と地域がパートナーとして連携・協働による取組を進めていくためには、学校と地域住民等が「地域でどのような子供たちを育てるのか」、「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有することが重要です。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

コミュニティ・スクールの取組で広がる魅力

子どもにとっての魅力

- 子どもたちの**学びや体験活動が充実**します。
- **自己肯定感**や他人を**思いやる心**が育ちます。
- 地域の**担い手としての自覚**が高まります。
- 防犯・防災等の対策によって**安心・安全な生活**ができます。

教職員にとっての魅力

- **地域の人々の理解と協力**を得た学校運営が実現します。
- **地域人材を活用**した教育活動が充実します。
- 地域の協力により**子どもと向き合う時間**が確保できます。

保護者にとっての魅力

- **学校や地域に対する理解**が深まります。
- **地域の中で**育てられているという**安心感**があります。
- 保護者同士や地域の人々との**人間関係が構築**できます。

地域の人々にとっての魅力

- 経験を生かすことで**生きがい**や**自己有用感**につながります。
- 学校が社会的つながり、**地域のよりどころ**となります。
- 学校を中心とした**地域ネットワーク**が**形成**されます。
- 地域の**防犯・防災体制等**が**構築**できます。